

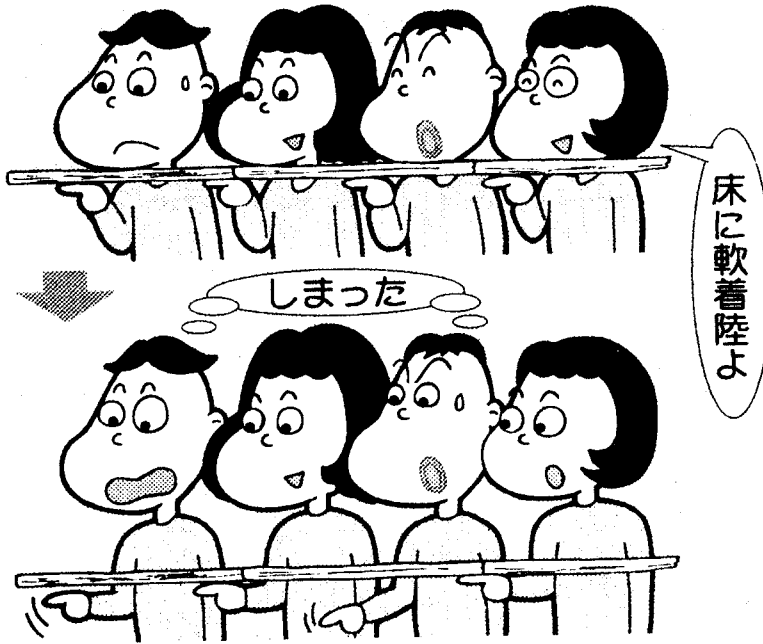
# あそびのレシピ

## みんなの息を合わせて

### ヘリウムスティック

グループ活動がマンネリ化していることもしばしば。今回の遊びでも、「誰だ、してくると、だんだん活動に手を抜く人が出てきます。おれは手を抜いていない」と言っている本人が、実は上げていた、協力することを学びましょう。

「私は関係ない」ではなく、みんなと一緒に知恵を出し合って解決策を探ることはとても大切なことです。まずは「隼より始めよ」。自分の行動に注意と責任を持ち、協力することを学びましょう。



- 【人数】 8-15人
- 【場所】 どこでも
- 【道具】 新聞紙3枚
- 【遊び方】

- ①3枚の新聞紙を巻きながら縦に長い棒をつくる(直径は2-3センチ)。
- ②メンバーは横1列に並んで、右手の人さし指を肩の高さに差し出す。メンバー全員の人さし指の上に、長く丸めた新聞紙の棒を置く。
- ③ここでリーダーが課題を伝える。「今、みんなの人さし指の上に乗っているスティック(棒)を床に軟着陸させてください。ただし、常に全員の人さし指がスティックに付いていなければいけません。一人でも指から棒が離れたら、最初からやり直し。人さし指を曲げたり、違う指を使ってもいけません」
- ④みんなの指の位置のバランスが崩れ、棒が浮き上がったり、頭上高く上がったりすることもあるかも。あたかも棒の中にヘリウムのような軽い気体が発生したように。協力して軟着陸を達成しよう。
- ⑤みんなの息が合って初めて、棒は円滑に下がる。仲間の結束を確かめる遊びです。

九州あそびの研究所・中島宏所長  
問い合わせは092(882)0363